

住友信託の排出枠信託

産廃のトリウム紹介

足 銀

足利銀行は7日、産業廃棄物処理業のトリウム（栃木県小山市、鳥海重利社長）と住友信託銀行による温暖化ガスの排出枠についての信託契約を仲介したと発表した。

足利銀行によると、北関東の地方銀行でこうした信託についての契約仲介は初めてという。足利銀行は環境に配慮した取引組

みで企業の社会的責任（CSR）の向上を目指す。

住友信託銀の排出枠信託は、韓国での風力発電プロジェクトに参加した丸紅から温暖化ガスの排出枠を購入して小口に分け、排出枠を取得したい顧客と契約を結ぶ仕組み。足利銀行は今回、取引先のトリウムと住友信託

銀を仲介した。

トリウムが購入したの

は排出枠の1口（二酸化炭素換算1000トン相当）で約300万円。信託期間は2013年3月まで。

排出枠信託は小口で排出枠を契約できるため、

億単位の経費をかけなくても温暖化ガス削減に比較的手軽に取り組める利点があるという。足利銀行は今後もこうしたサービスを提供していく方針。

のミ
山ウ
山リ
小ト

温室ガスの排出枠購入

足銀仲介、環境配慮PR

廃タイヤリサイクル業のトリウミ（小山市菅橋、鳥海重利社長）は7日までに、足利銀行を通じて住友信託銀行から温室効果ガスの排出枠を購入した。環

境に配慮した企業であることをPRするのが狙いで、この商品の契約は北関東では初めて。

トリウミは住友信託銀行から二酸化炭素（CO₂）1千トンの排出枠を購入した。購入額は約300万円。住友信託銀行は、韓国の風力発電プロジェクトの稼働によって排出権を与えられる大手商社の丸紅から排出枠を購入しており、小口化した排出枠を地銀などを通じて全国の企業に販売している。

トリウミは1976年の創業以来、一貫して廃タイヤ専門の収集運搬・中間処理業を行っている。全国でも有数の処理施設を備え、2006年には佐野市赤見地区に野積みされた廃タイヤの撤去を一手に引き受けるなど、積極的に環境問題に取り組んでいる。

排出枠の購入について、鳥海社長は「環境に配慮した会社であることをアピールするたため」と話している。

足銀は昨年6月から、排出枠に関する住

友信託銀行の商品を取り扱っている。支店などを通じて取引先企業に購入を呼び掛けており

「こうしたサービスを地元で提供し、環境に配慮した経営や取り組みを実施している企業を積極的に支援したい」としている。

（山根茂生）

ズーム

排出枠取引 国家や企業ごとに温室効果ガスの排出枠を取引する制度。1997年に採択された京都議定書で規定され

た。排出枠を購入した国や企業は、自国や自社の排出分と相殺することができる。経済産業省は昨年10月、国内版の排出枠取引「国内クレジット制度」を導入した。